

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
・ 学部	大学院理工学研究科		
・ 学科(コース等)	建築学専攻		
・ 学年(渡航開始時)	修士1年		
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい ☒ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望		

留学先情報			
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型	☐ オンライン型	
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型	☐ 研究室配属型	
・ 国・地域名	オーストリア		
・ 都市名	ウィーン		
・ 留学先大学名	ウィーン工科大学		
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☐ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☒ 半年～1年（2セメスター程度）		
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2022年9月中旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	☐ 1年前期 ☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☒ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☒ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期 ☐ 博士以上 ☐ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期		
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	ヨーロッパの協定校の中で、Webにある過去の留学経験者によるコメントや先生によるアドバイス、生活のしやすさや治安、また昔音楽をやっていた経験から「音楽の都」であるウィーンでできる文化経験を想像して志願しました。		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)			

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☒ 休学をした ☐ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取れ終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、各セメスターごとに大きなDesign Studioと小さなDesign Studio以外にも、スキルや知識を伸ばすために分野外の授業を複数履修したり、2ヶ月ごとのドイツ語学コースに1年間通ったりしました。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）

	Design Studio Vorbild Wien / Exemple parlant Vienna	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	2022w / ウィーンにある既存のSocial Housingのうち、リノベーションやコンバージョンによって改修された事例を一つグループで選び調査。その結果を、書籍化するために一定のフォーマットをもとにまとめ発表する。		
科目名②	Design Studio / Old is New Eco	単位数 (現地単位数)	10
科目概要	2023s / パリで建築事務所を構えているゲストレクチャーの元、実際に過去にコンペが行われた敷地でのコンバージョン設計提案。2人組で行う。		
科目名③	seminar design theory	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	2023s / ドイツ語で開校されていたModuleの中で、英語開講している一部の授業のみの受講を志願し履修した。公共建築を一つ選定し、その建築について1200wordsほどのレポートを提出する。先生と複数回に渡りミーティングを行いレポートの精度を上げていく。個人作業。		
科目名④	concept and design: cover in design theory	単位数 (現地単位数)	2.5
科目概要	2023s / ドイツ語で開校されていたModuleの中で、英語開講している一部の授業のみの受講を志願し履修した。公共建築のNegative spaceの形状に着目して新たな建築を設計する授業。個人作業。		
科目名⑤	concept and design: composition in design theory	単位数 (現地単位数)	2.5
科目概要	2023s / ドイツ語で開校されていたModuleの中で、英語開講している一部の授業のみの受講を志願し履修した。公共建築のNegative spaceの形状に着目して新たな建築を設計する授業。上記④とセット。個人作業。		
科目名⑥	Focus: Visual Communication and Design Graphic Animation and Effect Production	単位数 (現地単位数)	4
科目概要	2023s / Aeやpremier proといったアプリケーション技術を使い動画作成、編集を学授業。全6回の提出物。オンライン授業。		
科目名⑦	Design Studio Closer to the Stars - Living on the Roof	単位数 (現地単位数)	10
科目概要	2022w / ウィーンを敷地に、フラットな屋上を持つ既存建築の中から一つ選定し、その建物の屋上に2つのTiny houseとGardenを設計。提出要件に動画あり。ペアワーク。		
	他にも、単位を取らずに聴講のみで受講していた授業が4つほどあります。		
科目名⑧	Urban Research, Living Environment and Everyday Life	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	2022s / ウィーンのある地区を対象に街づくりについて調査しレポートを作成する。特にパブリックスペースに対してそれぞれテーマ、課題を設定して、実際に現地でインタビュー等も行った。グループワーク。		

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

音楽の都であるウィーンならではの体験として、毎月1回以上はウィーンフィルの定期公演会やオペラ、バレエ等を鑑賞しに行っていました。手頃な価格でも鑑賞できるため、今振り返っても貴重な体験ができました。また、美術館や博物館に至る所にあるため、年パスを買って定期的に見に行っていました。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

他人を気にしない性格の人がほとんどであるウィーンだからこそ、自分を自由に豊に表現することができるようになったような気がします。また、ほとんど毎日のようにお散歩をして景色や人間観察を楽しんだこともいい思い出です。語学習得へのやる気も格段に向上し、英語だけでなくドイツ語や韓国語も勉強していました。ヨーロッパにいれば、母国語や第二言語としての英語以外にも複数言語習得している方がほとんどであるため、自然とやる気が湧いてきますし、語学力を身につけるためのとても貴重な充実した日々でした。初めは会話についていくのが精一杯で遠慮してしまったりしたことを後悔しているので、事前に英会話などでスピード感に慣れておいたり、躊躇わずに勇気を持って相手と接していくことが重要であると感じました。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

CVを作成したことがなかったため、どんなフォーマットで作成すべきかGoogleで検索して作成しました。これでいいのかわからず提出時に不安がありました。また、建築設計系であれば、授業履修の際に選考条件としてポートフォリオが必要になる場合があるため、事前に作成しておく必要があります。

- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

ビザ申請はすごく大変でした。必要な書類が多く、また前年からの変更もあったため、事前に協定校の担当者から共有された資料と、大使館サイトも併せて確認しました。提出書類には、渡航前に準備する書類と、渡航後に入手できる書類があります。渡航前に事前準備する書類のうち、無犯罪証明書の取得タイミングは特に注意を。ビザ申請日から3ヶ月以内有効で、渡航後でも日本大使館で申請は可能ですが、その場合2ヶ月かかるそうです。そして、渡航後に入手する書類は順番に取得することになり、いきなり全ては揃いません。私の場合、実際にビザ申請日は渡航してから(9月中旬)2ヶ月後(11月中旬)でした。また、協定校の担当者のアドバイスは、過去にあったことに基づいてされるため、実際には不要な書類を用意することになる場合もありますが、ビザ申請時の担当者によっては更に提出する書類が増えるケースもあるようです。そして、ビザ取得日は、ビザ申請完了後から1ヶ月後。この時、申請時にも必要な銀行の残高証明がもう一度必要になります(申請時に、取得日時時点で必要な残高金額が提示される)。

- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

ビザを現地で申請し取得するため、ビザなし渡航となったため、渡航時に空港チェックインでは、協定校からの許可証を提示する必要がありました(1年有効の往復航空券を購入していたため確認された)。協定校の担当者から、現地への直行便(または第三国経由)での渡航を指示されました。渡航前にビザ取得できないため、シェンゲン協定により他の都市を経由すると目的国に入国できない場合があるかもしれないとのことでした。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。
(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)

協定校の担当者から紹介された寮(OeAD)

- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)

協定校の担当者からのメール受信後、4月に自分で会社サイトから申請。申請が遅かったのか、最初に希望したタイプ部屋に空きがなく、希望に近いタイプの提案を受けて申込。
※契約完了後2ヶ月分の寮費をデポジット送金する必要あり。海外送金には申込が必要で、提示された送金期限に間に合わないことがわかり、先方と交渉しクレジットカードで支払った

- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
交通手段や所要時間を教えてください。

空港から寮の最寄り駅までの直通バスで40分
(入寮日前日到着のため、寮近くホテルに1泊)

- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。

地下鉄またはトラムで20分、徒歩40分

- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

キッチンのみ共有(4名)の部屋で、バストイレは自分の部屋に専用であったので快適でした。また、寮は主要駅に近く、広さも十分だったのでとても住みやすかったです。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥9,920	学生自治費用2セメスター分
往復航空券代(往復)	¥245,020	帰国日程変更費用含む
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥144,200	2022/09/14~2023/09/13
ドイツ語語学学校受講費用(1年間4 ターム分)	¥264,000	1ターム400EUR x 4ターム分
その他費用(ビザ申請、パスポート取 得費等、英語試験受験料等)	¥68,850	ビザカード20EUR, 収入証明翻訳代102EUR, VISA申請 168EUR, 学割定期券2セメスター分150EUR, 国鉄割引券 19EUR
計	¥731,990	(1EUR=150円)で概算を算出しています

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥88,350	2022年9月~2023年1月まで560EUR 2023年2月~2023年8月まで570EUR
食費/月	¥29,300	友人との外食費(月3、4回程度)含む
その他/月	¥16,500	洗濯代、日用品 オーストリア学生健康保険(毎月要支払い※ビザ取得要件)
計	¥134,150	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

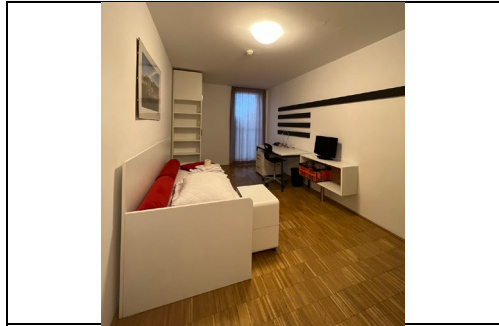
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

大学図書館

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

赤を基調とした部屋でした。収納もたくさんあり、入って右手前に専用バストイレがあります。

その他、任意の写真



説明文

装飾が派手で白い壁面が特徴の旧市街では、石畳の道路を馬車が通るまるで当時のような風景が体験できます。美しくいつ見てもドキドキしていました。

その他、任意の写真



説明文

数えきれないほどたくさんの美術館や博物館を回った中でも自然史博物館内の鉱物展示が特にお気に入りです。

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
・ 学部	大学院理工学研究科		
・ 学科(コース等)	建築学専攻		
・ 学年(渡航開始時)	修士課程1年夏		
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい ☒ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望		

留学先情報			
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型		
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型		
・ 国・地域名	オーストリア		
・ 都市名	ウィーン		
・ 留学先大学名	ウィーン工科大学		
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☐ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☒ 半年～1年（2セメスター程度）		
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2023年9月中旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	☐ 1年前期 ☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☒ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☒ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期 ☐ 博士以上 ☐ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期		
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	海外の大学院でも日本と同じようにやっていけるのかを確かめたかったこと、日本とは異なる建築に触れる機会が欲しかったこと、ウィーン工科大学の教育水準が高いこと、ウィーンがヨーロッパの中心に位置しており多様性に富んでいることなどが主な理由です。		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)			

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☒ 休学をした ☐ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取れ、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

留学先では学期ごとに1つのデザインスタジオの授業を履修し、それに合わせて座学、演習系の授業を履修していた。スタジオの種類は日本とは異なりかなりの種類があるので自分の興味のある分野を選ぶことができる。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）

科目名①	Design Studio Closer to the Stars – Living on the Roof	単位数 (現地単位数)	10
科目概要	ウィーンに存在する建物を選び、その屋上に住宅を設計するスタジオ。		
科目名②	Design Studio Ecolopes Living at Nordbahnhof	単位数 (現地単位数)	10
科目概要	ウィーンにあるNordbahnhofという場所の自然環境を考慮しながら集合住宅のマスタープランを作成するスタジオ。		
科目名③	Advanced Parametric Modeling	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	実践的なパラメトリックデザインを演習を通して習得する授業。		
科目名④	Architectural Morphology	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	建築平面を様々な観点をを用い分析する授業。		
科目名⑤	Urban Research, Living Environment and Everyday Life	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	ウィーンにある特定のエリアの住環境を視察を通して都市レベルで分析する授業。		
科目名⑥	International Urbanisation	単位数 (現地単位数)	2.5
科目概要	ラテンアメリカを中心として世界の様々な都市の仕組みを学ぶ授業。		

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

仲の良いルームメイトがサッカー好きだったので頻繁にサッカーを公園や一般チームに混ざり練習していた。芝浦工業大学ですでにサッカー部に登録されていたためオーストリアのチームには所属することはできなかった。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

留学中には様々なトラブルや授業などの不安がありましたが、実際にはなんとかなることがほとんどでした。ビザ関係や大学の手続きなどはサポートしてくれる団体もあり、授業も簡単ではありませんが乗り越えることができました。留学先では分からないことだらけの状態になることが多いですが、楽観的になることでストレスを感じずより良い留学生活が送れると感じました。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

日本から出願する際には大きく困ったことや大変だと感じたことはあまりなかったです。留学先から必要事項などが書かれた書類などが送られてきますのでその通りに進めれば問題はないと思います。

オーストリアに6か月以上滞在する場合にはビザを取得する必要があるのですが、そのために多くの書類を日本とオーストリアで揃える必要があります。余裕をもって必要書類を集めることをお勧めします。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

アパート

大学側に進められたウェブサイトからアパートを探した。

電車

自転車。約15分

2つの部屋があり、中心には水回りなどの共有スペースがありました。1つ目の部屋は2人部屋で残りは1人部屋です。私は2人部屋に住んでいました。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥3,340	学生ユニオン料
往復航空券代(往復)	¥200,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥122,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥16,000	
計	¥341,340	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥58,000	
食費/月	¥20,000	
その他/月	¥30,000	交際費等
計	¥108,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

ウィーン工科大学のメインの入り口

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

2つベッドが並んでいてルームメイトと部屋を共同で使用する

その他、任意の写真



説明文

ウィーンにある有名建築、郵便貯金局を見学

その他、任意の写真



説明文

時間があるときに有名観光スポットのハルシュタットを訪れた。